

阿久根市子ども・子育て会議録概要 (No. 1)

第1回	日時	平成25年10月23日(水) 午後3時～午後5時	場所	市役所大会議室
-----	----	-----------------------------	----	---------

出席者(18名)	伊藤周平委員, 折橋妙子委員, 今村英幸委員, 花田房義委員, 榎園すま子委員, 川原慎一委員, 釣井知美委員, 濱邊智美委員, 前平真澄委員, 出口隆盛委員, 飯尾章寛委員, 輿水基委員, 上池浩策委員, 寺地正吉委員, 原田正美委員, 五田貴子委員, 中山義邦委員, 佐潟進委員
会次第	1 開会 2 委嘱状及び辞令交付 3 副市長あいさつ 4 会長, 副会長互選(会長 伊藤委員, 副会長 花田委員) 5 議事
議事(概要)	<p>1 次世代育成支援対策後期行動計画後期行動計画の推進状況について</p> <p>○ 事務局説明</p> <p>地域における子育ての支援, 母性並びに乳児及び幼児等の健康及び増進, 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備, 子育てを支援する生活環境の整備職業生活と家庭生活との両立の推進, こども等の安全の確保, 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進に係る担当課ごとの平成24年度の取組状況及び今後の課題について説明。</p> <p>○ 質疑</p> <p>Q1 新制度に向けて, 幼稚園・保育園, 全ての子どもたちが質の高い幼児教育が受けられるという観点で, 策定をしていただきたい, それと幼稚園・保育園の障がい保育の支援を今後も要望したい。(要望のため, 回答はなし。)</p> <hr/> <p>2 子ども・子育て新制度について</p> <p>3 保育部会の設置について</p> <p>4 今後のスケジュールについて(以上一括説明)</p> <p>○ 事務局説明</p> <p>新制度については, 子ども・子育て条例の制定, 子ども・子育て関連3法の趣旨, 新制度の全体像として, 給付制度(施設給付・地域型給付・児童手当)と支援事業費(一時預かり・延長保育・放課後児童クラブ等)で構成されていくこと, またこれら給付単価については, 今後国の子ども・子育て会議において公定価格で決定されていくことを説明。又, 保育の必要性に応じて, 保護者の申請に基づき, 保育施設入所に関しては認定が必要となり, それぞれ1号認定・2号認定・3号認定子どもに区分され, さらには保護者の就業により長時間・短時間保育に区分し, 国の定める基準に応じて市町村が基準を定めることとなることの説明をする。</p> <p>○ 質疑</p> <p>Q1 幼稚園, 保育園, 小学校, 中学校とそれぞれ保護者の方は問題意識を持っていると思うが, そのすべてをこの会議で議論し, 計画策定をするものなのか。</p> <p>A1 基本的にはニーズ調査を実施し, 市町村が子ども・子育て支援計画策定が義務付けられている。</p> <p>阿久根市において, 保育・教育の必要な量を決めるということはこの会議において協議し, 保育園・幼稚園等の定員を決めていくというのが一番おおきな仕事となる。それだけではなく, 子育て全般</p>

阿久根市子ども・子育て会議録概要 (No. 2)

第1回	日時	平成25年10月23日(水) 午後3時～午後5時	場所	市役所大会議室
-----	----	-----------------------------	----	---------

議事(概要)	<p>にわたる総合的な計画策定も会議においては協議していく。</p> <p>Q2 新制度について、国が示す基準等が決まっていない部分も多く、なかなか分かりにくいところもあるが、ニーズ調査について対象者というのはどのように考えているか。またニーズ調査の結果等をどのように計画策定について位置づけされているのか。</p> <p>A2 次の議題にニーズ調査を上げているが、市全体の未就学児のいる世帯、学童を利用している世帯を対象に考えている。数としては、未就学児のいる世帯が700件程度、学童利用世帯が300件以上と考えている。</p> <p>送付方法としては、保育園・幼稚園利用者には各施設を通じて配布、学童クラブにおいても各施設から配布、それ以外の未就学児には郵送を考えている。</p> <p>内容については、保護者の就業形態により、どれくらい保育を必要としているか、いろいろと保育の施策に反映し考えていきたいと考えている。</p> <p>求職中等潜在的なニーズの必要性に応えるためには、まだ国の基準が決まらないところもあり、不明なところもある。</p> <p>Q3 保育の認定基準については煩雑化し、厳しくなるように思えるが、どのように考えているか。</p> <p>A3 国の基準が明確になっていないため、今の時点では答えは難しいが、長時間保育・短時間保育に分別された場合、短時間保育についても8時間を基準とした方が良いという意見も出ているが、国の方針としては短時間設定により、運営補助の節約ができるのでそのように進めるのでは。質より金ということになってきてしまう。実際に市町村の窓口では業務が大変になる可能性もある。</p> <p>Q4 私たち(委員)の判断で、保育の必要な量を定める際に非常に責任を感じるのだが。</p> <p>A4 新制度以後今の運営基準と違い、給付費として施設に係る児童を対象に支払われることとなる。これには既存の運営費と違い、施設の人件費、事務費等による積上げ方式とは大きく異なるため、給付費が減ってしまう可能性もあるので、この給付に関しては施設に係る人件費、事務費等も考慮し国に基準づくりを進めていただくようお願いしたいところである。</p> <p>Q5 阿久根市においては、施設が不足している状況か。</p> <p>A5 そうではなく、待機児童はいない。</p> <p>Q6 今の介護保険制度では、1次判定・2次判定の後審査会が入ってくるが、新制度においても1号・2号・3号認定があるが、介護と同様審査会は必要か。</p> <p>A6 子ども・子育て支援法によると審査会の設置の義務付けはないが、保護者に対し認定証を交付する。ただし申請してから30日以内となり、事務的に長くなる。</p> <p>Q7 放課後児童クラブは認定が必要か。</p> <p>A7 放課後児童クラブは市町村事業なので、認定証は必要はない。</p>
--------	---

阿久根市子ども・子育て会議録概要 (No. 3)

第1回	日 時	平成25年10月23日(水) 午後3時～午後5時	場 所	市役所大会議室
-----	-----	-----------------------------	-----	---------

議事(概要)	<p>Q 8 認定期間について、虐待等により申請がない場合は未申請でも保育認定は可能か。</p> <p>A 8 今までのとおり、職権により可能である。</p> <p>Q 9 第1号認定については、誰でも認定が取れるところであるが、2・3号認定については保育に欠ける児童であるが、保護者の働く時間により、家庭で保育ができる時間があるのに、長く保育できる認定を与えると、子育て環境については悪影響ではあるのでは。</p> <p>現在開所時間11時間に1時間の延長保育で各保育園は開所し、幼稚園についても9時から3時30分くらいと開所時間があって、それ以外は預かり保育として運営し、幼稚園・保育園に関わらず長く開所時間は設けてるということをやっていて、今度の制度で幼稚園・保育園同じような制度になっていくと考えるが、小規模保育について、市内の過疎地域について保育が受けられるような制度になってくるのは阿久根にとっては良い制度とも考えられる。</p> <p>ある程度人数が少なくなっても児童が生まれた地域で運営できる制度は阿久根にとっては重要かと考える。そこに希望を見いだせればと考えられる。</p> <p>A 9 小規模保育については、地域によって可能性もあるので、利用もあるが、小規模保育B型については、国の保育士基準が半数以下に下げている部分もあるので、条例等により保育士の配置を規定し、保育の質を下げないというのも検討しなければならない。</p> <p>将来的に必要な事業と思えるので、基準を考えていかなければならないところである。</p> <p>Q 10 今後の会議において、阿久根市の課題等も抽出し、会議に臨めるような資料を提供いただきたいと思うのだが。</p> <p>A 10 事務局の方で整理し、準備をします。制度について知る機会を作ることも重要である。保育の認定の際に必要な量については保護者もかなり戸惑うと思う。</p> <p>1号認定子どもを除いては、事務が非常に煩雑すると考える。</p> <p>Q 11 基準等については法律で決まるのか。</p> <p>A 11 基準については、省令等で定めるので、従わなければならないものは従わなければならない。法律とは違い、国に要望等も必要</p> <p>Q 12 県の動きはどうか。</p> <p>A 12 動きは鈍い。県は県で計画を策定するので、市と直接関係はない。</p> <p>A 13 阿久根市は阿久根市の基準、近隣市町はそれぞれで基準の違いはあるか。</p> <p>Q 13 国の基準に従うべき基準と参酌すべき基準とがあるが、少なくとも参酌基準については、国を上回る基準が必要ではないか。ただし、独自基準の場合、市の財政持ち出しも必要となるが、子どものための計画策定なので、よりよい計画をつくるには、必要ではないか。</p>
--------	--

阿久根市子ども・子育て会議録概要 (No. 4)

第1回	日 時	平成25年10月23日(水) 午後3時～午後5時	場 所	市役所大会議室
-----	-----	-----------------------------	-----	---------

議事(概要)	<p>5 阿久根市子ども・子育て支援計画策定に係るニーズ調査について</p> <p>○ 事務局説明 国のニーズ調査(ひな型)基に、未就学児用のニーズ調査においての必須事項の保育の量の見込みを必要とする内容に、阿久根市の子育て事業に関する満足度、子どもの育ちに関する調査を加えてのニーズ調査(案)及び児童クラブ利用対象者用を提示し、説明する。</p> <p>○ 質疑 A1 ニーズ調査(案)について実際記入したが、誤植等あり、またアンケートのレイアウトについても、設問により分かりにくいものもある。また、アンケートの量が多く、回収率も気になるが、気になる家庭について個別事情等調査にはあがってこないところもあるはずなので、細かいところも計画において検討すべきと思う。</p> <p>Q1 誤植等については訂正。ただし、自由記入欄等細かいところを委員の皆様にも協議してほしい。 配布方法は各保育園を通じての配布、未就園児については郵送、学童利用者には学童からの配布をお願いする予定である。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>※ ニーズ調査については、11月11日から18日までで実施した。</p>
--------	--